

研究機関：広島大学

研究課題名	消化管癌における GLS1 発現と臨床病理学的特徴との関連性に関する検討
研究責任者名	広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2021 年 11 月 18 日(倫理委員会承認後) ~ 2023 年 9 月 30 日
対象者	2010 年 1 月から 2020 年 12 月の間に、広島大学病院で切除された大腸癌の症例の患者さん。
意義・目的	OGLS1 と呼ばれるグルタミン変換酵素が、各種の腫瘍で腫瘍部特異的に発現され、その進展に関与している可能性が報告されていますが、消化管癌における、その役割や、臨床病理学的特徴との関連性についてはまだ解明されていません。今回、臨床所見と、プレパレートによる組織学的評価を行うことで、それらの関連性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、病理組織所見、性別、病期、血液検査値、画像所見、生存期間、腫瘍局在です。本研究で遺伝子解析を行う予定はありません。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません) また、手術の際に切除した癌組織を使用して、GLS1 陽性細胞の発現の有無等を調べます。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5191 広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治（研究責任者） 宮本 亮（担当者）